



別の顔

放課後は



after

に就任し、2か月後の1月1日に能登半島地震が発生。被災地を支援するために学校で募金活動を始めました。1週間で募金額2万円を達成するために、期間中は毎日朝のニュース等で調べた現地の状況を校内放送して、募金の必要性

上小原中学校
おかりこ
岡山凜子さん(3年生)



愛称は「おかりこ」。小学1年生から習っている書道は準7段の腕前で、得意教科は国語と英語。趣味は音楽鑑賞で「暇さえあれば音楽を聞くほど大好きです」と話す。

を呼び掛けました。おかげで目標の額を超える3万円の募金が集まり、うれしかったです。
また、3月から週に1回「生徒会ラジオ」を始めたところ、これが大好評。元々は卒業生を応援するために始めた取り組みでしたが、現在でもリクエスト曲を流したり季節の行事に合わせたトークをしたり、生徒会で番組内容を考えながら続けています。
これからも生徒からの要望を聞いて、その実現のために「尽くす」気持ちを持って努力していきたいと思えます。

小

学生の頃から積極的な子ども会もあり、中学校でも生徒会活動を通じて学校全体のために頑張りたいと思っていました。
中学2年生の11月に生徒会長



school

昔、度尾で起きた出来事にクローズアップ!



タイムトラベル ~温故写新~

27話

串良川の治水



串良川は、高隈山を源流として笠野原台地の北端から串良町・東串良町・高山町境まで流れ、肝属川に合流する河川です。雨が強い時の河川は、カーブに水の流れが突き当たることで堤防の土を削りつつ、遠心力で水位が高くなります。特に串良川はカーブが多く、昔から大雨の度に氾濫を起こしていました。大隅が桜島と陸続きになった大正3年の桜島大噴火の際、串良は農業で壊滅的な被害を受けました。中でも深刻だったのは、水源から遠い串良川の下流に火山灰が溜まり、川底の高さが上がったこと。少しの雨でも氾濫するようになり、沿岸の約



▲第二回改修工事完了を記念して作られた石碑。改修工事の経緯が刻まれています。

244haの田んぼが沼地化。米が作れなくなっていました。これに対処すべく、当時の西串良村は東串良村と協力し「東串良村西串良村連合組合」を発足。約1万3千人を投じて大正4年から第一回改修工事が行われました。その年の6月、大雨で十数か所の堤防が決壊したことで大正5年6月に第二回工事が行われ、翌年5月に工事が完了しました。
しかし、またもや困難が襲います。大正7年6月の大雨により再び堤防は決壊。第三・四回工事が行われましたが、その後も何度も洪水に見舞われて収集が着かない事態に陥りました。途方に暮れる村人を鼓舞しつつ何とか最適な工法を採用し、大正10年に第五回工事を実施すると、ついに大正12年に完了させることができました。
大雨の季節。今ある串良川の治水は先人の努力があることを忘れてはいけません。